

# 令和2年度 第1回 大分市総合教育会議

日時：令和2年5月15日（金）14：00～15：00

場所：大分市教育センター 4階 大会議室

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る学校等での対応について

(2) 令和2年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業について

### 3. 閉 会

## 新型コロナウイルス感染者の発生状況等について

### 1 感染者の発生状況

#### (1) 陽性者数（人）

令和2年5月14日(木)現在

	陽性者	入院中	退院	死亡
大分県(大分市含む)	60	3	56	1
大分市	35	2	33	0

#### (2) 患者概要

例目 (市)	例目 (県)	公表日	年代	性別	職業	例目 (市)	例目 (県)	公表日	年代	性別	職業
1	1	3/3	30代	女性	接客業	25	30	4/2	40代	男性	会社経営者
2	4	3/20	30代	女性	医療機関職員	26	32	4/4	30代	男性	会社員
3	5	3/20	20代	女性	医療機関職員	27	33	4/6	20代	男性	会社員
4	6	3/20	20代	女性	医療機関職員	28	47	4/15	50代	男性	会社員
5	7	3/20	30代	男性	医療機関職員	29	48	4/15	50代	女性	会社経営者
6	8	3/20	80代	男性	無職	30	49	4/15	10代	女性	学生
7	9	3/21	80代	男性	無職	31	50	4/15	70代	女性	無職
8	10	3/21	80代	男性	無職	32	51	4/16	70代	男性	会社役員
9	11	3/21	90代	女性	無職	33	52	4/16	60代	女性	無職
10	12	3/21	80代	女性	無職	34	53	4/16	40代	女性	施設職員
11	13	3/21	90代	女性	無職	35	54	4/16	50代	男性	会社員
12	14	3/22	20代	女性	医療機関職員						
13	15	3/22	50代	女性	医療機関職員						
14	16	3/22	80代	女性	無職						
15	17	3/22	50代	女性	医療機関職員						
16	18	3/22	80代	女性	無職						
17	20	3/22	20代	女性	医療機関職員						
18	21	3/22	30代	女性	医療機関職員						
19	22	3/23	20代	女性	医療機関職員						
20	23	3/24	70代	男性	無職						
21	24	3/25	20代	男性	医療機関職員						
22	25	3/25	40代	女性	医療機関職員						
23	27	3/27	40代	男性	自営業						
24	29	3/31	40代	男性	自営業						

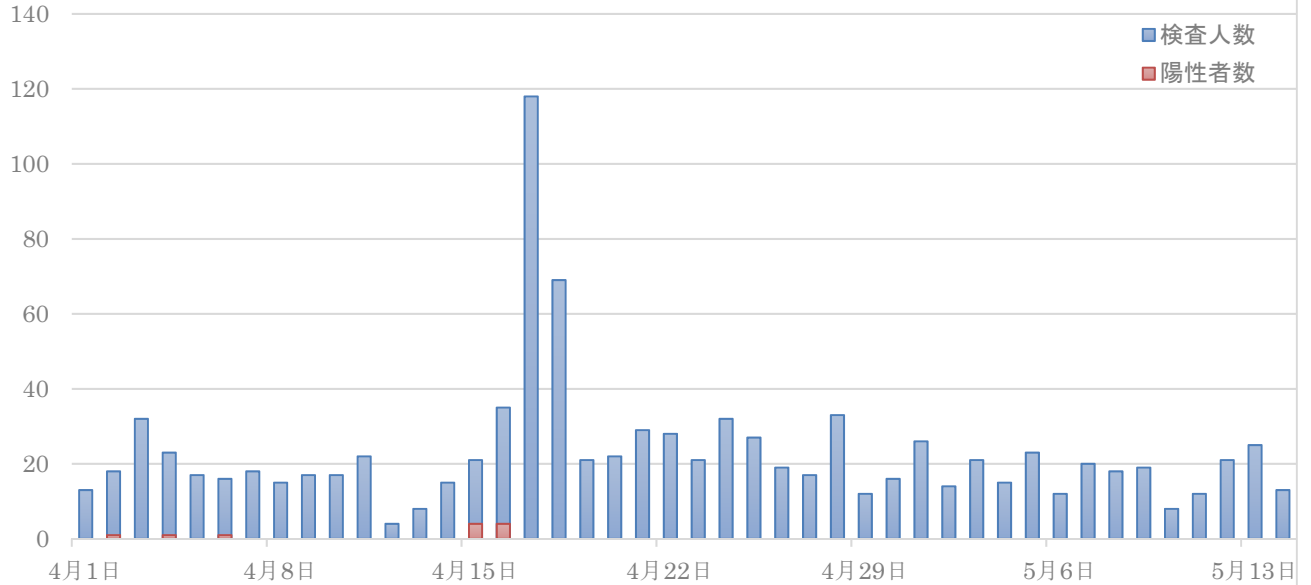
#### (3) 大分市民等PCR検査人数

令和2年5月14日(木)現在

検査月	検査人数（大分市保健所検査数）	陽性者数
3月	1,326（557）	24
4月	755（705）	11
5月	234（234）	0
<b>合計</b>	<b>2,328（1,509）</b>	<b>35</b>

※4月17日以降、陽性者は0人

## 大分市民等PCR検査数、陽性者数（4月1日～5月14日）



	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日		
検査人数	13	18	32	23	17	16	18	15	17	17	22	4	8	15	21	35	118	69	21	22	29	28	21	32	27	19	17	33	12	16	26	14	21	15	23	12	20	18	19	8	12	21	25	13		
陽性者数	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 大分市保健所に寄せられた相談について 令和2年5月13日(水)現在

月	件数
1月	69件
2月	544件
3月	4,207件
4月	5,738件
5月	1,321件
<b>合計</b>	<b>11,879件</b>

### (3) 医療・衛生物資について

#### ①大分市に支援物資を提供していただいた団体

受入日	提供元	物資	提供先
3月 6日	中華人民共和国駐福岡 総領事館	消毒液 54リットル 医療用手袋 1,000双	帰国者・接触者 外来の医療機関
3月23日	(株)夢グループ	マスク 940枚	大分郡市医師会 大分市医師会
3月25日	日中専門家 コンソーシアム	マスク 4,000枚	
4月 1日	(株)アジア通信社・中国 経済新聞	マスク 10,000枚	大分市薬剤師会
4月13日	横ぶり えつ	フェルトマスク 1,008枚	職員用
4月20日	旭化成メディカル MT(株)	マスク 2,000枚 アイソレーションガウン 630枚 ビニール手袋 1,200枚	27日から医療機 関へ配布
	大分マリンパレス	マスク 5,000枚	
4月21日	ジェットグループ	マスク 13,044枚	幼稚園
	KYOEIグループ (ヴェルSPA)	マスク 1,000枚	教育施設
4月23日	武漢市	サージカルマスク 50,000枚 N95マスク 3,000枚	27日から医療機 関へ配布
5月11日	匿名	子ども用マスク 2,479枚	市立幼稚園児用 市内保育園児用
5月11日	匿名	医療用マスク 500枚 スポンジマスク 100枚	医療機関 職員用
5月11日	マツコちゃんねる	サージカルマスク 300枚	医療機関
5月11日	(株)新日配薬品	サージカルマスク 4,000枚	医療機関
5月12日	(株)SARABiO (サラビ オ) 温泉微生物研究所	マスク 5,000枚	医療機関
5月12日	国際ロータリー 第2720地区	フェイスシールド 5,000枚	医療機関

②大分市が提供した物資

提供日	物資	提供先
3月11日	N-95マスク 120枚 サージカルマスク 1,500枚	帰国者・接触者外来の医療機関
3月20日	布マスク 200枚	おおいた人とみどりふれあいいち実行委員会
3月25日	マスク 10,000枚 ゴーグル 1,000個	大分東医師会
3月31日～	除菌水 320リットル	障害福祉サービス等事業所(560事業所)
4月2日～	ガーゼマスク 4,000枚	児童発達支援事業所(24事業所)、放課後等デイサービス事業所(71事業所)
4月2日～	ガーゼマスク 5,000枚	市内居住の妊婦に配布
4月2日～3日	ガーゼマスク 16,000枚 アルコール消毒液 143本分	放課後児童クラブ (児童育成クラブ54、民間放課後児童クラブ14)
4月8日	サージカルマスク 12,000枚	介護老人福祉施設 35施設 介護老人保健施設 20施設
4月10日	サージカルマスク 16,200枚	有料老人ホーム 148施設 養護老人ホーム 1施設 軽費老人ホーム 8施設 生活支援ハウス 5施設
4月10日、27日	マスク 2,000枚	市場内業者
4月30日 5月1日	サージカルマスク 61,450枚	高齢者福祉施設 障害福祉サービス等事業所
5月1日～	サージカルマスク 100,000枚	大分市歯科医療関係協議会 大分市薬剤師会 坂ノ市薬剤師会

## 大分市立小中学校及び義務教育学校等における今後の対応について

## 1 今後の対応について

## (1) 分散登校

5月18日(月)から29日(金)までの間、曜日を定めた全学年の分散登校を実施する。

## (2) 学校再開

状況を判断し、6月1日(月)から感染症対策を講じた上で、学校を再開する。なお、不測の事態により、急遽変更の場合もある。

## (3) 夏季休業期間

現時点では、1学期を8月12日(水)まで延長することにより、夏季休業期間を短縮することとしている。なお、2学期の始業は、8月25日(火)とする。

## 2 臨時休業期間中の在宅学習について

## (1) タブレット端末を活用した在宅学習

中学校3年生、小学校6年生は、臨時休業期間中、タブレット端末を自宅に持ち帰り、指導者の指示による在宅学習を行っている。

<利用ソフト>

- ・まなびポケット 等

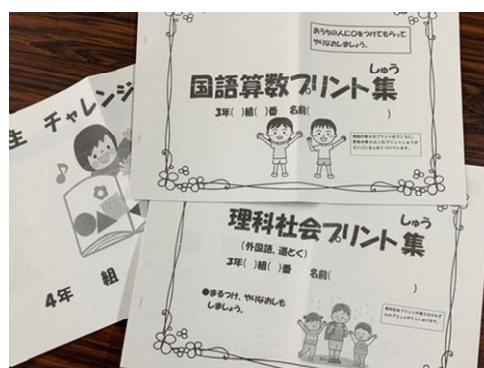
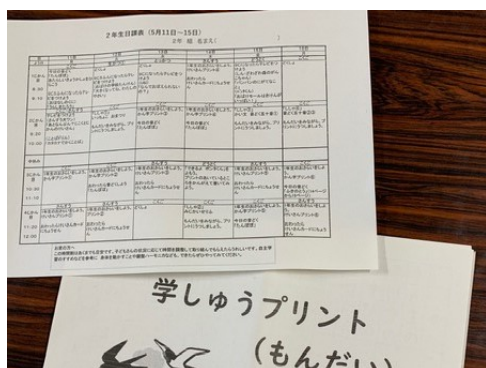
<活用方法>

- ・担任と児童生徒との連絡
- ・課題等のファイル配布、回収
- ・ドリル学習 等



## (2) 学習プリントによる在宅学習

小学校1～5年生、中学校1、2年生、義務教育学校1～5年生、7、8年生は、学習プリントによる在宅学習を行っている。学習内容は、昨年度末の未指導分の内容や新学期の予習的な内容を含むものとしている。



### 3 分散登校について

#### (1) 分散登校の実施

5月18日(月)から学年や学級毎の分散登校による指導を行う。指導は1学級を分割した学習集団を編制し実施する。

- ・小学校1年生から中学校2年生は週2回、中学校3年生は週3回の登校とする。
- ・午前中、短縮4時間(小40分、中45分)の指導とし、給食実施後下校(部活動は実施しない)とする。ただし、中学校大規模校については、密集を回避するため、午後からの登校も可能とする。(短縮3時間)
- ・基礎疾患や体調に不安がある児童生徒には、事前に保護者と相談のうえ、「登校しなくてもよい日」として扱うとともに、学習補充にも配慮した対応をとる。

#### (2) 感染症防止対策

##### ① 家庭と連携した健康管理の徹底

- ・登校前に検温し、体温とその日の体調を記録する「健康観察カード」を使用した健康観察を継続し、児童生徒の健康状態を確実に把握する。教職員も同様とする。

##### ② 基本的な感染症対策の徹底

- ・登校後、教室に入る前に手指消毒又は手洗いを行う。
- ・外から教室に入る時やトイレを使用した後、給食の前後などこまめな手洗いを徹底する。
- ・咳エチケットを徹底し、原則としてマスクを着用するよう指導する。
- ・新型コロナウイルス感染症や抵抗力を高めることの大切さについて指導を行う。
- ・多くの児童生徒や教職員が手を触れる箇所について、1日1回以上の消毒を行う。

##### ③ 集団感染リスクへの対応

- ・教室等の換気を徹底する。(1時間に1回以上)
- ・原則として、2方向の窓を同時に開けるなどして空気の流れを作る。
- ・各自の席を1m以上離すなど、児童生徒同士の身体的距離を離すよう工夫する。
- ・近距離での会話や発声等をできるだけ避けるため、授業において、グループや少人数による話し合い・教え合いなどの活動は控える。
- ・教具や用具の共用は避ける。共用を避けることが難しい場合は、使用前後に手洗いをするとともに、教職員が適宜、消毒すること。

##### ④ 給食時の対応

- ・給食は個包装したものを準備し、セルフ方式で配膳する。
- ・給食の準備を行う教職員や児童生徒の健康観察及びマスクを着用するなどの衛生的な服装をしているか等の点検を徹底する。
- ・児童生徒全員の食事前後の手洗いを徹底する。
- ・会食にあつては、机を向かい合わせにしない、会話を控えるなどする。

##### ⑤ 個別の対応

- ・基礎疾患のある児童生徒等については、保護者や主治医等と連携を密にし、学校生活における配慮を確認し、個に応じた適切な対応を行う。

#### 4 その他

##### (1) スポーツ少年団について

スポーツ少年団の活動も部活動等に合わせることにし、6月1日（月）から活動を再開する。

##### (2) 大分市13地区公民館の今後の対応について

###### ①主催教室・講座について

主催教室・講座前期（5月～9月）の実施については、すべて中止とし、カリキュラムなどの組み替えをして後期からの実施とする。

###### ②貸館の利用開始について

貸館の利用は一部利用制限を設けた上で、6月1日から開始する。



## 子どもすこやか部における新型コロナウイルス感染症に対する 基本方針と対応経過について

### ■ 4月 7日（火）

- ・小中学校の臨時休業が延長されたことから、放課後児童クラブに対して開設時間の延長継続の要請を行った。

### ■ 4月14日（火）

- ・市立幼稚園入園式（規模縮小・時間短縮・マスク着用等により実施）

### ■ 4月16日（木）

- ・「緊急事態宣言対象区域」が全ての都道府県に拡大

### ■ 4月17日（金）

- ・国が16日付で全ての都道府県を5月6日を期限とした緊急事態宣言の対象区域に指定したことから、感染拡大を防ぐため、保育所・幼稚園・認定こども園・認可外保育施設・放課後児童クラブについて、保護者や家族での対応が可能な場合、登所・登園を控えるよう要請した。
- ・こどもルームの利用制限を5月末まで延長した。

### ■ 4月21日（火）

- ・対応を県と統一するため、基本方針を一部変更（緩和）し、「同居親族の感染状況で休園等の判断を行わないこと」とした。

### 【基本方針（一部変更）】

\_\_\_\_\_ : 修正箇所

#### 幼児教育・保育施設、放課後児童クラブ

- (1) 新型コロナウイルスに感染した子どもが発生した場合、子どもの発熱や咳などの症状の有無に関わらず、当面14日間の臨時休園とする。
- (2) 職員が感染した場合も同様とする。
- (3) 同居親族の状況にかかわらず、子どもが濃厚接触者と特定された場合、14日間の登園自粛を働き掛ける。
- (4) 施設で感染が発生した場合、感染拡大防止、風評被害防止、個人情報保護の観点から、子どもやその家族のプライバシー配慮を要請する。

- ・同日より、市立保育所、私立の幼児教育・保育施設（147施設）のうち、希望した106施設に対して、アルコール消毒液（1施設につき800ml）の配付を開始した。（～24日（金））

### ■ 4月23日（木）

- ・幼稚園等に対し、新型コロナウイルス感染症が発生した場合の消毒実施体制の整備（消毒用物品の確保、職員への消毒方法の周知など）について依頼した。

■ 4月30日（木）

- ・市立小中学校の5月29日（金）までの臨時休業継続を受け、全ての放課後児童クラブ68施設（児童育成クラブ54施設・民間放課後児童クラブ14施設）を訪問し、開所の継続と利用者の自粛継続の要請を行うとともに「学校に協力をお願いしたいこと」などの聞き取りを行った。

■ 5月 1日（金）

- ・市立幼稚園、市立保育所、私立の幼児教育・保育施設に対して、国の緊急事態宣言が延長された場合には、登園自粛の期間延長について正式に決定し、各施設あてに周知する旨を伝えた。

■ 5月 4日（月）

- ・6日（水）が期限の「緊急事態宣言対象区域」が31日（日）まで延長
- ・国の「緊急事態宣言」が延長されたことから、市立幼稚園、市立保育所、私立の幼児教育・保育施設、認可外保育施設に対して、5月31日（日）まで、保護者や家族での対応が可能な場合、引き続き、登園を控えるよう要請した。

■市からの要請に応じて幼稚園等の登園を自粛した子どもの割合（5月8日（金）現在）

◎認可保育所・こども園等の子ども

1号認定 : 77%

2号及び3号認定 : 30%

◎市立幼稚園の子ども : 98%

◎放課後児童クラブの子ども : 54%

※1号認定は3歳から5歳の保育を必要としない子ども

※2号認定は3歳から5歳の保育を必要とする子ども

※3号認定は0歳から2歳の保育を必要とする子ども

■ 5月15日（金）

- ・国の「緊急事態宣言対象区域」から大分県は解除されたが、市立幼稚園、市立保育所、私立の幼児教育・保育施設、認可外保育施設・放課後児童クラブについては保護者や家族での対応が可能な場合、5月31日（日）まで登園を控えるよう自粛要請を継続する。

（今後の対応）

旭町児童館・こどもルームについては、利用制限解除に向け、利用者に対する受付での体温や体調の確認、利用前・利用中の手指の消毒の実施のほか、利用者が増加した場合の人数制限、遊具の消毒や室内換気の時間を設けること等具体的な対策を講じながら開所を目指す。

基本方針1 生きる力をはぐむ学校教育の充実

大分市教育大綱  
目標

令和2年度事業

大分市教育ビジョン  
重点施策

大分市小中一貫教育推進事業

小中一貫教育の推進

★イングリッシュアドバイザー派遣事業  
 ■教科指導マイスター派遣事業  
 大分っ子基礎学力アップ推進事業

確かな学力の定着・向上

学校図書館活性化事業

豊かな心の育成

■歯と口の健康づくり事業  
 運動部活動総合活性化事業

健やかな体の育成

目標1  
次代を担う  
人材育成

★青少年国際理解推進事業  
 ★オースティン市姉妹都市提携30周年記念事業  
 ■外国語指導助手招聘事業  
 ■ハーバード大学生との交流事業  
 ■プログラミング教育推進事業

社会の変化への対応

■特別支援等教育活動サポート事業

特別支援教育の充実

市立幼稚園一時預かり事業

幼児教育の充実

基本方針2 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

大分市教育大綱  
目標

令和2年度事業

大分市教育ビジョン  
重点施策

目標2  
学びのセーフティ  
ネットの構築

★不登校児童生徒支援事業  
 ■特別支援教育メディカルサポート事業  
 ■日本語指導等支援事業  
 ■奨学助成事業  
 ●スクールソーシャルワーカー活用事業  
 ●医療的ケア児教育・保育事業  
 いじめ・不登校等未然防止対策事業  
 就学援助事業

全ての子ども  
の学びの  
保障

★(仮称)大在東小学校施設整備事業  
 ★(仮称)賀来小中学校施設整備事業  
 ●学校施設整備保全事業(長寿命化改修)  
 ●金池小学校施設整備事業

時代の変化に対応した  
教育環境の整備

目標3  
質の高い学びを  
実現する教育  
環境の整備

★学校給食費公会計化等学校徴収金管理事業  
 ■スクールサポートスタッフ配置事業  
 教職員指導力向上推進事業  
 部活動指導員活用事業

教職員の資質能力の向上  
及び働き方改革の推進

学校運営協議会(学校評議員)  
生き生き学習サポート

地域とともにある学校づくり  
の推進

基本方針3 社会教育の推進と生涯学習の振興

大分市教育大綱  
目標

令和2年度事業

大分市教育ビジョン  
重点施策

目標4  
生涯学習支援体制や  
家庭教育支援  
の充実

★関崎海星館施設整備事業  
 ●鶴崎公民館施設整備事業  
 ●公民館類似施設整備事業  
 市民図書館管理運営事業

生涯学習支援体制の  
充実

■子どもの学習支援事業  
 ■おおいたナイトスクール事業

学習機会や内容の充実

目標5  
地域における  
子どもの健全育成  
の充実

おおいたふれあい学びの広場推進事業  
 地域多世代ふれあい交流事業

地域活動の充実

青少年育成事業(中央補導活動事業)

地域における  
子どもの健全育成

基本方針4 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

大分市教育大綱  
目標

令和2年度事業

大分市教育ビジョン  
重点施策

目標6  
文化・芸術を  
生かしたまちづくり

まちなかアートフルロード推進事業

美術の振興と発信

★伝統芸能伝承師認定事業  
 ●大分城址公園整備・活用事業  
 ●大友氏遺跡保存整備事業  
 ワクワクおおいたFunai魅力発信事業

文化財の  
保護・保存・活用

基本方針5 スポーツの振興

大分市教育大綱  
目標

令和2年度事業

大分市教育ビジョン  
重点施策

目標7  
スポーツを通じた  
地域活性化

★トップアスリート育成・支援事業  
 ★駄原総合運動公園トレーニング施設整備  
 備事業  
 ★スポーツコミッション推進事業  
 ●東京2020オリンピック・パラリンピック強化  
 指定選手支援事業  
 ●国際スポーツ誘致推進事業  
 ●大南地区スポーツ施設整備事業  
 ●西部スポーツ交流ひろば人工芝化事業

スポーツ振興に関する  
事務は、平成29年  
度に市長部局に移管

基本方針6 人権を尊重する社会づくりの推進

大分市教育大綱  
目標

令和2年度事業

大分市教育ビジョン  
重点施策

目標8  
人権尊重を基盤とした  
教育活動の充実

教育指導一般事業(啓発資料の作成等)

学校教育における人権・同和教育の推進

目標9  
人権尊重社会の実現に  
向けた人権啓発の推進

教育指導一般事業(人権教育推進協議会等)

社会教育における人権・同和教育の推進

人権フェスティバル等事業

人権啓発の推進

# 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	小中一貫教育の推進	1	大分市小中一貫教育推進事業	「確かな学力の向上」、「心の教育の充実」、「健やかな体の育成」をバランスよく推進し、自ら学び自ら考える力などの生きる力を育成する上から、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行うとともに、小中学校間の円滑な接続を図る小中一貫教育を推進する。	令和2年度は、小中一貫教育実践発表校である4校区(判田中、植田西中、戸次中、植田南中)が、学校や地域の実情に応じたこれまでの研究内容や成果について、公開研究発表会や小中一貫教育推進フォーラム等を通して、市内全小中学校に還元する。また、市内各小中学校は、学校や地域の特色を生かし、9年間を見通した系統的な教育課程の編成、実施、改善に着手する。 ※新型コロナウイルス感染症により、公開研究発表会は令和3年度へ延期となった。	学校教育課
	確かな学力の定着・向上	2	イングリッシュアドバイザー派遣事業	英語教育に関する専門的な知識と技能を備えるとともに、教職経験又は外国語指導助手経験が豊富で実績がある退職教員等を「イングリッシュ・アドバイザー」として各小学校及び義務教育学校に派遣し、英語教育に関する指導・助言を行い、教員の授業力を向上させることにより、児童の学力の定着・向上を図る。	令和2年度は、イングリッシュ・アドバイザー(以下EAとする)5名を配置する。EAは、各学校を年間10回程度訪問し、派遣校において、指導対象教員とともに授業を実施する。授業後には、研究協議を開催し、小学校学習指導要領、大分市小学校英語教育推進ハンドブック、授業観察の結果等を踏まえ、授業改善に向けた指導助言を行う。また、EAは次回以降の授業にかかる準備の補助を行う。	学校教育課
		3	教科指導マスター派遣事業	経験豊富で実績のある退職教職員を「教科指導マスター」として中学校に派遣し、国語科、数学科、理科、社会科、英語科の具体的な授業場面において担当教員へ指導・助言を行う。	令和2年度は、国語科2名、数学科3名、理科4名、社会科3名、英語科3名の教科指導マスターを配置する。教科指導マスターは、各学校を年間8～10回程度訪問し、各学校における学力や学習の状況、授業観察の結果等を踏まえ、教科指導の在り方等について指導・助言を行う。	学校教育課
	豊かな心の育成	4	大分っ子基礎学力アップ推進事業	児童生徒の基礎学力の向上に向け、小学校4校と中学校2校を「基礎学力向上研究推進校」に指定し、教科指導における実践的な研究を進めるとともに、市内全小中学校等を対象に、標準化された学力調査を実施する。	令和2年度は、指定校2年目に当たる荏隈小学校、明野西小学校、上野ヶ丘中学校が公開研究発表会等を通して、2年間の研究の成果を他校に還元する。また、市内全小中学校等を対象に標準学力調査を実施する。 【標準学力調査実施教科】 小4:国語、算数、理科 中1:国語、社会、数学、理科、英語 ※新型コロナウイルス感染症により、公開研究発表会は令和3年度へ延期となった。	学校教育課
		5	学校図書館活性化事業	各小中学校において学校図書館の司書業務を支援する「大分市学校図書館支援員」を配置することにより、大分市の児童生徒に豊かな感性や情操を育む読書活動を推進し、読書に親しむおおいっ子を育てる教育活動の充実を図る。	小中学校等の学校図書館支援員において、計60名を配置する。(20名を兼任、40名を専任)	学校教育課
	健やかな体の育成	6	歯と口の健康づくり事業	歯みがき指導、食に関する指導に加え、むし歯予防効果が高いフッ化物洗口を導入することにより、学校における歯と口の健康づくりを推進する。	令和元年度については、小学校全校、中学校18校、義務教育学校1校の計72校でフッ化物洗口を実施しており、令和2年度については、新たに中学校9校を加え、市立学校の全校において実施する。	体育保健課
		7	運動部活動総合活性化事業	地域の高度な指導力を持つ人材を運動部活動に活用することにより、生徒の多様なスポーツニーズに応え、運動部活動の実施体制の整備を図るとともに指導者の資質向上並びに適切な運動部活動の運営に寄与する。また、トップアスリートによる実技講習会を開催し、生徒に運動する楽しさ・喜びを味わわせ生涯スポーツの基礎を培い、競技力の向上につなげる。	平成27年度に設置した運動部活動外部指導者人材バンクを活用し、運動部活動の実施体制の整備を図る。また、登録者に対して研修会を実施し、外部指導者の資質向上を図る。 【令和2年3月時点 登録者数212名】	体育保健課

# 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課
目標1 次代を担う人材育成	社会の変化への対応	8 (市)	青少年国際理解推進事業	市内の小学生が、ALTとゲームやワークショップ等を行い交流することで、子供たちが世界に視野を広げ、チャレンジ精神や多様性を身に着けるきっかけとする。	これまで、小学校5、6年生120人を対象に、のつはる少年自然の家に宿泊型体験によるALTとの交流会を実施していたが、令和2年度に全面実施される新小学校学習指導要領における英語教育の早期化・教科化や、ハーバード大学生との交流事業の対象を小学校5、6年生に拡大したことを動かし、小学校低学年・中学年にも外国人と直接触れ合い、世界に目を向ける機会を提供するために、市内中心部において、日帰りで、誰もが気軽に参加できる内容に変更して実施する。 場所：コンパルホール5F体育室 期日：11月7日(土) 対象：小学生	(市) 国際課
		9 (市)	オースティン市姉妹都市提携30周年記念事業	オースティン市との姉妹都市提携30周年を契機として、オースティン市との青少年交流の活性化及びグローバル人材の育成を図るため、夏休み期間中の約2週間を利用して市内の中学生10名をオースティン市へ派遣し、テキサス大学の英語学習プログラムを受講するほか、姉妹都市委員会との交流や市長表敬訪問等を行う。	・大分市の中学生10名を、各中学校から1名ずつ選抜し、中学校の代表として留学する。(選抜方法については学校と調整) ・テキサス大学等のESLクラスにて、2週間英語レッスンを受講するほか、姉妹都市委員会との交流や市長表敬訪問等を行う。 ※ESL・・・English as a Second Language の略語。英語を母国語としていない人が第二言語として英語を学ぶクラスのこと。 ・市が1名あたり約30万円を負担(航空運賃、学費の一部)し、留学生の自己負担を5万円程度とする。 ・市職員1名が随行し、中学生のサポートを行うとともに、職員自身も国際化スキルの向上を図る。 ・留学生は、英語及びコミュニケーション能力の向上のため、渡航前に事前講座を受講する。 ・帰国後は、自分の中学校で留学体験の発表や、次年度に留学する中学生へのサポートをする。 ※新型コロナウイルス感染症により、上記取組は中止となった。	(市) 国際課
		10	外国語指導助手招聘事業	小学校第3、4学年の外国語活動や、小学校第5、6学年及び中学校の英語科を中心に、ALTを活用して児童生徒が外国語等の異文化に触れることにより、関心・意欲を高め、コミュニケーション能力の素地や基礎の育成を図る。	児童生徒が生きた英語に直接触れる機会をより多く確保し、授業を実際のコミュニケーションの場とするなど指導体制の充実を図るため、ALTを6名増員し、37名体制とする。	学校教育課
		11 (市)	ハーバード大学生との交流事業	「Summer in Japan 大分大会」が開催されるにあたり、大分市内の中学生向けに、ハーバード学生等約20名による英語交流会を開催する。また、ハーバード学生には大分の文化や自然等を体験してもらい、SNSなどを使い大分市の魅力を世界に発信してもらう。	令和2年度は、次の2コースに分けて実施する。 ①少人数によるコミュニケーション能力を備えたグローバルリーダー育成を目指す上級コース(定員50名) ②世界で活躍するグローバルリーダーの体験を聞き、英語力の向上を目指すコース(定員200名) 対象：市内小学生5、6年、中学生 ※①については英検3級もしくは同等の能力の者 実施日：①8月10日(月) ②8月5日(水) ※新型コロナウイルス感染症により、取組内容の変更を検討中。	(市) 国際課
		12	プログラミング教育推進事業	令和2年度全面実施となる、新学習指導要領における小学校段階からのプログラミング教育の推進を図るため、先行実践校での検証の成果と課題を踏まえ、教員の知識技能向上のための研修や教材配備等を行う。	市内全小学校及び義務教育学校に、プログラミング用教材を配備する。また、令和元年度に提示した年間指導計画をもとに実践事例集を作成・配布するとともに、小中合同のプログラミング教育研修を実施するなど、教職員の指導力の向上に努め、本市プログラミング教育の推進を図る。	教育センター
	13	特別支援等教育活動サポート事業	学習や生活指導上、特に配慮が必要な児童、生徒が在籍する学校に補助教員を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行う	小中学校等の補助教員を3名増員し、計126名を配置する。 申請のあった学校へ配置できた割合 92.2%(R1)→93.6%(R2)	学校教育課	
	14 (市)	市立幼稚園一時預かり事業	市立幼稚園3園において、自園の園児を対象に通常の教育時間終了後及び長期休業日に、保護者の希望により17時30分まで有料で園児を預かる。	3年間の試行期間を経て、令和元年度からは、引き続き3園による一時預かり事業を実施し、子育て支援の充実を図ることとしている。	(市) 保育・幼児教育課	

# 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課
目標2 学びのセーフティネット の構築	全ての子どもの学びの 保障	15	不登校児童生徒支援事業	学校に登校はできるが教室にはいけない生徒が教室復帰したり、登校に無気力さや不安を抱える生徒が安心して登校したりできるよう支援や援助をする目的で、中学校3校と、義務教育学校にスクールライフサポーター4名(各校1名)を配置する。	学校に登校はできるが教室にはいけない生徒や、登校に無気力さや不安を抱える生徒を支援室において、主に社会的自立や教室復帰に向かう支援を行い、必要に応じて入室した生徒の学習支援を行う。	学校教育課
		16	特別支援教育メディカルサポート事業	日常的に痰の吸引などの医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することで児童生徒の安全な学校生活及び保護者の負担軽減等、合理的配慮を図り、児童生徒の教育機会を保障する。	小学校5校6名、中学校1校1名が事業を利用しており、医療的ケアの内容は、痰の吸引2名、導尿5名である。最大週5日の派遣であり、痰の吸引は最大8時間、導尿は1日2回と1日1回で、1回につき30分以内となっており、4事業所と委託契約を結び、看護師を派遣して対応している。	教育センター
		17	日本語指導等支援事業	各学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を行う講師や日本語指導専任指導員、通訳を各学校に派遣する。	日本語の指導が必要な児童生徒等や日本語が十分に理解できない保護者に対し、日本語指導を行う講師や通訳者を各学校へ派遣し、支援する。 また、令和2年度より日本語指導専任指導員を拠点校2校に各1名配置し、来日直後等の児童生徒が在籍する学校へ出向き、集中的な指導や支援を行う。	学校教育課
		18	奨学助成事業	高校生及び大学生を対象に奨学資金の貸付を行うほか、高校生を対象に「未来自分創造資金」として返済の必要のない奨学資金の給付を行う。	令和2年度から給付型奨学金である「未来自分創造資金」の募集定員を20名増員し、70名とした。	学校教育課
		19	スクールソーシャルワーカー活用事業	不登校をはじめ、いじめ・暴力行為・児童虐待など生徒指導上の課題への対応が求められる中、行政や関係機関と連携した相談活動など包括的な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを効果的に配置し、児童生徒のおかれた様々な環境に働き掛けるとともに、学校における教育相談体制の整備、充実を図る。	会計年度任用職員のスクールソーシャルワーカー(SSW)計22名を市内全中学校及び義務教育学校に配置し、その校区の小学校も併せて担当している(定員24名のところ、2名欠員のため随時募集中[5/1時点])。また、正規職員の主任SSWを教育センター及び東部・西部子ども家庭支援センターに各1名、統括SSWを教育センターに1名配置し、エリア体制及び子ども家庭支援センター等との連携を強化し、学校における教育相談体制の充実を図る。	教育センター
		20 (市)	医療的ケア児教育・保育事業	日常的に痰の吸引、導尿などの医療的ケアを必要とする児童が在籍している市立幼稚園・保育所に訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを実施することにより児童の教育・保育機会を保障する。	市立幼稚園1園1名が事業を利用しており、医療的ケアの内容は、在宅酸素である。訪問看護ステーションの派遣は1日1回、週3日程度となっており、1回につき30分以内の派遣を見込んでおり、1事業所と委託契約を締結し、看護師を派遣して対応予定である。	(市) 保育・幼児教育課
		21	いじめ・不登校等未然防止対策事業	hyper-QU検査を行い、児童生徒や学級の現状及び課題を的確に把握し、いじめ・不登校等の未然防止につながる学級集団作り等に活用する。	hyper-QU検査を全小学校(第4学年～第6学年)、全中学校(第1学年～第3学年)、義務教育学校(第4学年～第9学年)において年2回実施するとともに検査結果を各学級ごとに、個別指導や学級経営に活用する。 ※今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、実施回数を変更する場合がある。	学校教育課
		22	就学援助事業	経済的理由により就学困難と認められる児童及び生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の援助等を行う。	これまで小中学校1年生を対象に入学後の7月に支給していた新入学学用品費について、平成29年度から、就学前児童並びに小学校6年生を対象に入学前の3月に支給時期を前倒しするとともに、国の支給単価の増額に合わせ、支給単価を引き上げた。また、令和元年度から、小中学校の卒業アルバム代等費、中学校3年生学力診断テスト費を補助対象項目として新設した。	学校教育課 体育保健課

# 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課
目標3 質の高い学びを実現する 教育環境の整備	時代の変化に対応した 教育環境の整備	23	(仮称)大在東小学校施設整備事業	大在中学校区の人口増加に伴い、大在小学校及び大在西小学校の学級数の増加が今後も見込まれることから、通学区域の再編をして、分離新設校を整備する。 なお、整備にあたってはPFI方式の導入を検討する。	事業手法等を検討するためのPFI等導入可能性調査を実施する。	学校施設課
		24	(仮称)賀来小中学校施設整備事業	本市初の小中一貫教育校として平成19年に開校した賀来小中学校について、施設の老朽化に伴う中学校の長寿命化改修と小学校の建て替えを一体的に整備する。 なお、整備にあたってはPFI方式の導入を検討する。	事業手法等を検討するためのPFI等導入可能性調査を実施する。	学校施設課
		25	学校施設整備保全事業(長寿命化改修)	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、建物を築80年まで使用するため、小中学校施設の長寿命化改修を行う。	予定している長寿命化改修工事は次のとおり ・舞鶴小学校南校舎 ・横瀬小学校南校舎 ・森岡小学校本校舎 ・別保小学校南校舎	学校施設課
		26	金池小学校施設整備事業	「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、金池小学校の校舎群を改築するとともに、校地の有効活用を図るため敷地内にある児童育成クラブなどを含めた一体的な施設整備を行う。	PFI事業として、事業者の決定、基本協定の締結、本契約の締結(6月議会)ののち、設計を実施する。	学校施設課
	教職員の資質能力の 向上及び働き方改革の 推進	27	学校給食費公会計化等学校徴収金管理事業	学校教育活動上必要となる学校給食費等学校徴収金について、保護者等からの徴収を原則口座振替とし、収納・支払情報を一元管理するシステムを導入する。学校給食費については、公会計へ移行し、徴収・管理業務を市で行う。	各種課題の整理、方針の決定、システム業者選定(プロポーザル方式)	体育保健課 学校教育課
		28	スクールサポートスタッフ配置事業	教職員の事務負担を軽減し、子どもと向き合うための時間の確保のため、スクールサポートスタッフを配置する。	教職員の事務補助を行うサポートスタッフを小学校9名、中学校2名、義務教育学校1名に配置する。	学校教育課
		29	教職員指導力向上推進事業	教職員としての使命感や教科指導等の職務遂行のために必要な専門的知識や技能、広く豊かな教養、これらを基盤とする実践的指導力の向上を図る教職員研修を企画、運営する。	新学習指導要領の全面实施に向けて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善、ICTを用いた指導法、道徳、外国語教育、特別支援教育等、新たな教育課題に対応した研修講座を充実させるなどして、教職員の実践的指導力の向上を図る。	教育センター
		30	部活動指導員活用事業	中学校に「部活動指導員」を派遣し、同指導員による単独指導・大会等への単独引率を可能とすることにより、部活動の充実、活性化及び教員の部活動における負担軽減を図る。	市内中学校に部活動指導員を配置し、生徒の能力に応じた適切な指導を行うとともに、教員の部活動に係る負担軽減を図る。 【令和2年3月末時点 市内中学校14校に22名を配置】	体育保健課
	地域とともにある学校 づくりの推進	31	学校運営協議会(学校評議員)	各学校の運営及び運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を各学校の実情に応じて設置する。	令和2年度までに、計46校に学校運営協議会を設置し、学校運営への支援を行うとともに、未設置校の学校に対しては、今後の積極的な設置について指導する。なお、令和6年度に全校設置を予定している。 (令和元年度39校→令和2年度46校)	学校教育課
		32	生き生き学習サポート	専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する学校教育支援員及び各学校独自の人材バンク等に登録した外部人材を活用することを通じ、学校と地域が一体となった多様な学習活動を展開し、子どもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力を育む。	英語教育、伝統文化、食生活、国際理解協力、環境教育等の各分野において、専門的な知識・技能、経験を有する人材を採用し、多様な学習活動を展開する。 【令和2年3月末時点 1,180人】	学校教育課

# 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課	
目標4 生涯学習支援体制や 家庭教育支援の充実	生涯学習支援体制の 充実	33	関崎海星館施設整備事業	天文分野に関する学習の場や佐賀関の自然や豊予海峡を臨む景色が堪能できる憩いの場である関崎海星館について、施設の長寿命化及び機能の強化を図る。	令和元年9月に策定した「大分市関崎海星館施設整備基本構想」に基づき、新たに導入するプラネタリウムや更新予定の天体望遠鏡などの仕様を基本設計において決定する。	社会教育課	
		34	鶴崎公民館施設整備事業	「大分市公共施設等総合管理計画」及び「大分市教育施設整備保全計画」に基づき、市内で一番古い鶴崎公民館の長寿命化改修を実施し、施設の利便性の向上及び機能充実を図る。	昨年度実施した設計をもとに、現鶴崎公民館の改修工事及び増築する集会室棟の敷地の造成工事を行う。	社会教育課	
		35 (市)	公民館類似施設整備事業	地域が管理運営する校区公民館・自治公民館の新築・改築・耐震工事等に要する経費の一部を補助することで、地域住民の生涯学習施設、地域づくりの拠点施設、災害時の防災拠点施設として十分な機能を備えたものとなるよう施設整備を促進する。	自治公民館の新築・改築を16件予定し、施設の修繕等については随時対応。	(市) 市民協働推進課	
		36	市民図書館管理運営事業	学校、地区公民館等及び関連部署との連携により、生涯学習支援体制の整備を行うとともに、滞在型の図書館を目指し、読書環境のさらなる充実を図るための事業を展開する。	高齢者や障がい者等の来館困難者へのサービス拡充を図るとともに学校図書館や関連部署との連携を通じ、団体貸出の推進及び広報活動の強化を実施。あわせて、滞在型の図書館を目指し、利用者ニーズに即した参加型の事業を展開することで図書館の利用促進につなげる。	社会教育課	
	学習機会や内容の 充実	37 (市)	子どもの学習支援事業	「要保護世帯」及び「準要保護世帯」の中学生を対象に、学習塾にかかる費用の月額1万円を上限として一部助成し、子育て世帯の負担軽減を図ることにより、子どもたちに学力を向上するための機会を提供する。	令和元年度助成決定者の利用期間が8月末までのため、6月下旬の就学援助決定に合わせ申請書を配布し、9月から更新。また来年度から中学生になる小学6年生については、4月から利用できるよう、2月頃配布予定。また、令和2年度より中学校3年生の7・8・12・1月は、月額1万5千円に拡大。	(市) 生活福祉課	
		38	おおいたナイトスクール事業	さまざまな理由により、中学校で十分に学べなかった人や、生涯学習として中学校程度の学習内容を学び直したい人、大分の生活、文化や日本語を学びたい人に対して学習の機会を提供する。	植田公民館、コンパルホール、大分東部公民館の3会場で実施する。 ・植田公民館(火) 英語(中学2年程度)・国語(中学2年程度) ・コンパルホール(水) ふるさと知ろう科・国際科・数学(中学1年程度) ・大分東部公民館(木) 英語(中学1年程度)・国語(中学1年程度) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開講を6月から10月に延期。	社会教育課	
	目標5 地域における子どもの 健全育成の充実	地域活動の充実	39	おおいたふれあい学びの広場推進事業	学校を中心とした身近な場所で、地域の指導者や団体等との交流を通じ、体験活動を行う。	地域主体型を34校区(昨年度33校区)で実施し、子どもの体験活動を中核とした事業を実施する。 団体ごとに活動回数に応じた補助金を交付し、活動を支援する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上記取組は9月末まで中止。	社会教育課
			40 (市)	地域多世代ふれあい交流事業	老人クラブ等が運営主体となり、公民館等で、子ども及びその親、学生等と食事の提供や学習支援のほか美化活動などによる多世代交流を通じて、高齢者の生きがいづくりや社会参加などを促し、地域コミュニティの活性化を図る。	今年度は5団体が当事業に取り組み(今年度から1団体増加予定)、地域コミュニティの活性化及び老人クラブの活性化が図れるよう地域主導による多世代交流を目指す。	(市) 長寿福祉課
地域における子どもの 健全育成		41	青少年育成事業(中央補導活動事業)	大分市青少年補導員が気になる行動への声かけや商業施設からの情報収集を積極的に行い、子どもの非行防止に努める。	市民補導員による中央補導、学校補導員による夜間補導を実施するなど、関係機関と連携しながら市民と一体となった見守り活動や環境浄化活動を行う。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上記取組は9月末まで中止。	社会教育課	



## 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課
目標6 文化・芸術を生かした まちづくり	美術の振興と発信	42	まちなかアートフルロード推進事業	県立美術館や県立芸術短期大学、美術関係団体などと連携し、まちなかに回遊性を持った芸術文化ゾーンを形成し、芸術文化の振興を図る。さらに中心市街地の賑わい効果を美術館まで波及させる。	旧大志生木小学校を活用したアートレジオン推進事業参加者をはじめとする大分県内で活動している若手アーティスト8組の活動を紹介する「CIAO!2020」を開催する。 また、JR大分駅デジタルサイネージを活用した情報発信を行う。 ※「CIAO!2020」については会期変更の上、開催する。 ※多くの市民が参加できるワークショップ等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止する。	美術振興課
		43	伝統芸能伝承師認定事業	大分市無形民俗文化財に指定された伝統芸能の継承活動に従事する者のうち、高度の伝統的技術・技法を保持する指導者を大分市伝統芸能継承師として認定することにより、その功績を讃え、今後の伝統芸能の継承者育成や継承団体や地域の活性化に資することを目的とする。	大分市伝統芸能伝承師選考委員会を開催し、大分市無形民俗文化財の保持団体より推薦のあった伝承師候補者5名について選考し、認定を実施する。 認定された方々に対し、認定証および「大分市伝統芸能伝承師」の木製プレートを授与する。	文化財課
	44 (市)	大分城址公園整備・活用事業	大分城址公園は、府内城の歴史的・文化的資源を活かしながら大分市のシンボルとなる公園である。「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき、取り組みを進めることにより、新たな魅力を有する「歴史文化観光拠点」としての形成を図る。	「大分城址公園整備・活用基本計画」に基づき、文化財調査(文献調査・石垣調査・発掘調査)を主に、お堀周りの防護柵設置、天守台周辺昇降施設整備等を実施する。また、公園内のコンテナハウスにて、「府内城絵巻」と題して府内城の歴史に関するパネル展示をH30年度より継続して実施。 ※コンテナハウスについては、新型コロナウイルス感染症の影響により4月16日現在、休館中。	(市) 公園緑地課	
	45	大友氏遺跡保存整備事業	約400年間豊後を支配した、戦国大名大友氏の本拠地である大友氏遺跡を将来にわたり保護、保存するとともに、大友氏遺跡歴史公園の整備完了に向けて、計画的な史跡指定と公有化を推進する。	令和元年度に改訂した「史跡大友氏遺跡整備基本計画(1期)」に基づき、令和2年度から中期整備(令和2年度～令和15年度)に着手する。令和2年度は、中心建物「大おもて」の立体復元の基本方針を取りまとめ、歴史文化観光拠点施設の素案の検討を行う。	文化財課	
	46	ワクワクおおいたFunai魅力発信事業	大友氏遺跡を歴史文化観光拠点として整備するにあたり、仮ガイダンス施設の建設やボランティアガイドの養成などを行うとともに、市内文化財施設における多言語化の推進等により、積極的な情報発信を行う。	平成30年度に設置した「南蛮BVNGO交流館」を拠点に、大友宗麟や大友氏遺跡の情報発信を積極的に行う。令和2年度は、復元工事が完了した大友氏館跡庭園を活用したイベントを行う。また、昨年度に引き続き、ボランティアガイド活動を行うとともに、市内文化財の説明板の更新(英語併記)を行う。	文化財課	
目標7 スポーツを通じた地域 活性化		47 (市)	トップアスリート育成・支援事業	選手の競技活動に対する支援を行うことで、本市にゆかりのある選手が国際大会等の舞台で活躍することで、市民のスポーツに対する興味・関心が高まり、本市におけるスポーツ振興や競技力の向上につながる。	東京2020オリンピック・パラリンピックの選手選考に惜しくも落選した選手で、大分県スポーツ協会が指定する強化選手に、引き続き国際大会等で活躍できるよう支援を行う。	(市) スポーツ振興課 障害福祉課
		48 (市)	駄原総合運動公園トレーニング施設整備事業	ラグビーワールドカップ2019のレガシーとして、豊後企画大分駄原球場が今後ともナショナルチームや社会人チームのキャンプ地として活用されるように、トレーニング施設を整備する。なお、キャンプが行われていない時期には、一般市民が利用できる施設とし、総合スポーツ施設としての機能の充実を図る。	建設工事の実施 10月1日より一般市民の供用開始予定	(市) スポーツ振興課
		49 (市)	スポーツコミッション推進事業	ラグビーワールドカップ2019大分開催及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、県と連携し、スポーツコミッション組織を立ち上げる。県、市町村、民間企業、競技団体等からなる官民一体型の組織に参画し、国際スポーツ大会、事前キャンプ、スポーツ合宿を誘致することで、地域住民との交流による市民のスポーツへの興味関心の喚起や地域情報の発信、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。	・合宿の受け入れ ・キャンプや大会の決定権があるキーパーソンの招聘や競技団体への訪問等、誘致活動の実施	(市) 東京オリンピック・パラリンピック 推進局

## 令和2年度 大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要

新規事業

拡充事業

重点事業

(市)・・・市長部局

教育大綱 目標	教育ビジョン 重点施策	番号	事業名	事業の概要	事業予定(令和2年度)	担当課
目標7 スポーツを通じた地域 活性化		50 (市)	東京2020オリンピック・パラリンピック 強化指定選手支援事業	東京2020オリンピック・パラリンピックに対して、多くの国民が日本人選手の活躍に期待している中で、本市出身選手および本市在住者の中でオリンピック出場が期待される選手(強化指定選手)を指定し、遠征に係る経費等の助成を行う。	東京2020オリンピック・パラリンピックが延期となったが、本市出身選手および本市在住者の中でオリンピック・パラリンピック出場が期待される選手(強化指定選手)を指定し、引き続き遠征に係る経費等の助成を行う。	(市) スポーツ振興課 障害福祉課
		51 (市)	国際スポーツ誘致推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルや各国の事前キャンプの実施を県や競技団体と共に連携しながら取り組むことで、本市の魅力向上、地域の活性化、国際化の推進及び大会に向けた機運の醸成を図る。	・オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火フェスティバルの開催 ・各国の事前キャンプの実施 ※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により、上記取組は延期となった。	(市) 東京オリンピック・パラリンピック 推進局
		52 (市)	大南地区スポーツ施設整備事業	平成27年大分市スポーツ推進審議会からの答申や、大南地区振興協議会から継続的な市長要望等を踏まえ、大分市の大南地区にスポーツ施設を整備し、地域で身近に利用できるスポーツ施設の環境を創出することで、大南地区ひいては本市におけるスポーツ実施率の向上や、本市のスポーツ施設配置状況における地域バランスの是正等を図る。	用地買収の実施	(市) スポーツ振興課
		53 (市)	西部スポーツ交流ひろば人工芝化事業	全国的に人工芝の導入が進められている中で、本市では人工芝グラウンドが未だに整備されていないことから、利用者等から人工芝グラウンド整備に係る要望があげられているところである。このような現状を踏まえ、使用率が高く、交通アクセスも良好である西部スポーツ交流ひろばに人工芝を整備する。	人工芝化工事の実施	(市) スポーツ振興課
目標8 人権尊重を基盤とした 教育活動の充実	学校教育における 人権・同和教育の推進	54	教育指導一般事業 (啓発資料の作成等)	部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向け、さまざまな人の考えや気持ちを共感的に理解できる力をはぐくむ教育の推進と充実に努める。	人権・同和問題に関する知的理解を深めるため、児童生徒対象及び保護者対象の学習資料をそれぞれ作成する。	人権・同和教育課
	社会教育における 人権・同和教育の推進	55	教育指導一般事業 (人権教育推進協議会等)	人権・同和教育の解決に向け、各地区人権教育(尊重)推進協議会等との連携を強化し、市民の主体的な取組を促す学習機会の提供に努める。	各地区人権教育(尊重)推進協議会と人権啓発DVDや講師の紹介・派遣等による連携を図る中、評議員を対象にした研修会を年2～3回、また地区住民を対象にした人権講演会を年1回、少人数の地区懇談会を各地区の実情に応じた回数実施する。	人権・同和教育課
目標9 人権尊重社会の実現 に向けた人権啓発の推 進	人権啓発の推進	56	人権フェスティバル等事業	「市民一人一人が互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現」へ向け、大型商業施設等において啓発活動を行う。地域住民の参加・交流を促し、人権啓発の推進を図る。	イオンパークプレイス大分、J:COMホルトホール大分、祝祭の広場、地区公民館および旭町文化センターにて、啓発活動や講演会等を実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取組内容の変更を検討中。	社会教育課

教育等に関連する新型コロナウイルス感染症に係る  
4月補正・4月専決予算事業

1、4月補正予算事業

- (1) 就学援助事業（学校教育課）：予算額 35,100千円
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う失職や家計急変などにより経済的に困窮した世帯を対象に、就学に必要な経費の一部を援助する。
- (2) 学校給食費等返還事業（体育保健課）：予算額 300,200千円
- 本年3月及び4月の学校給食の休止に伴い、学校が業者に発注した食材のキャンセルに係る経費を補助する。なお、国の要請に応じて学校が保護者に対し、3月3日から春休みまでの臨時休業期間中の学校給食費を返還した際の両替手数料、口座振替手数料分も併せて補助する。
- (3) 学校給食衛生管理改善事業（体育保健課）：予算額 38,800千円
- 学校給食の再開に向け、給食調理業者が行う設備更新等、衛生管理改善に要する経費の一部を補助する。

2、4月専決予算事業

- (1) 幼稚園・小中学校等感染症対策事業（保育・幼児教育課、体育保健課）  
：予算額 31,680千円
- 幼稚園、小中学校等に配布するアルコール消毒液、非接触体温計などの保健衛生用品に係る経費の計上
- (2) 児童福祉施設感染症対策事業（子育て支援課、保育・幼児教育課）  
：予算額 154,900千円
- 公立保育所や児童育成クラブ等に配布するアルコール消毒液、非接触体温計などの保健衛生用品に係る経費及び私立保育所、認可外保育所等の保健衛生用品購入費に係る補助金の計上